本宮市行政評価システム								
評価対象年度: 平成 19 年度 平成 2 0 年度事務事業評価表							成20年10月10日 1-5-2-5	
		en e				管理		
事務等	事業名。高齢	者 教肖事業				部等名	教育部	
予算	会 計	科目コード	予算細目名	高齢者教育事業		課等名	中央公民館	
科目	一般	01-100502004	細々目名			係 等 名	社会教育担当	
_, ,	基本目標	1 豊かな心と創造性	あふれる人材育	可成のまちづくり				
政策 体系	施策	5 生涯学習体制の充	医実と施設の整体					
冲尔	基本事業名	2 生涯学習機会・活	動の充実					
高齢者を対象に趣味、教養、健康に関する内容について学習する教室「新生大学」を開催する。 事業概要 ・ 実施内容								
根	拠法令等	社会教育法		事業の種類 評価区分	□維持管理事業□事前評価✓ ፤		業 □その他事業	
			/- ++0.00	₩/± \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	÷	年度	~ 年度)	
重点	事業区分	✓ 重点事業 事業実施	<mark>施期間</mark>	継続 □単年月	更 □期間限定(十反	十尺)	
	1 報酬	<u>✓</u> 重点事業 <mark>事業実施</mark>	円 11 消耗品費	述統 □ 単年度	8,708 円 15 工事請	負費	<u> </u>	
	1 報酬 7 賃金		円 11 消耗品費 円 12 役務費	还統 □□単千段	8,708 円 15 工事請 16,000 円 18 備品購	負費 入費	F.	
重点 決算額	1 報酬 7 賃金 8 報償費		円 11 消耗品費 円 12 役務費 日 13 委託料		8,708 円 15 工事請 16,000 円 18 備品購 円 19 負担金	i負費 入費 補助及び交付金	F.	
決算額	1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費	5,000	円 11 消耗品費 円 12 役務費		8,708 円 15 工事請 16,000 円 18 備品購	i負費 入費 補助及び交付金	F.	
決 算 額 1.	1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費 8 務事業の 現	5,000 1状把握(Do)	円 11 消耗品費 円 12 役務費 日 13 委託料		8,708 円 15 工事請 16,000 円 18 備品購 円 19 負担金	i負費 入費 補助及び交付金	E.	
決算額 1. (1)	1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費 事務事業の現	5,000 は状把握(Do) 目的と手段	円 11 消耗品費 円 12 役務費 日 13 委託料		8,708 円 15 工事請 16,000 円 18 備品購 円 19 負担金	i負費 入費 補助及び交付金	E.	
決算額 1. (1) 対象	1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費 事務事業の 野 (誰を、何を	5,000 以状把握(Do) 目的と手段	円 11 消耗品費 円 12 役務費 日 13 委託料		8,708 円 15 工事請 16,000 円 18 備品購 円 19 負担金	i負費 入費 補助及び交付金	E.	
決算額 1. (1) 対象	1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費 事務事業の現	5,000 以状把握(Do) 目的と手段	円 11 消耗品費 円 12 役務費 日 13 委託料		8,708 円 15 工事請 16,000 円 18 備品購 円 19 負担金	i負費 入費 補助及び交付金	F.	
決算額 1 . ₹ (1) ₹ 6 0 s	1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費 事務事業の (誰を、何を 意以上の高齢	5,000 は状把握(Do) 目的と手段 う	円 11 消耗品費 円 12 役務費 日 13 委託料	び手数料	8,708 円 15 工事舗 16,000 円 18 備品購 円 19 負担金 円 合	i負費 i入費 補助及び交付金 計	円 円 29,708 円	
決算額 1 (1) 対 6 0 手 8	1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費 F務事業の 「誰を、何を 最以上の高齢 (事業の具体 也区新生会に	5,000 は状把握(Do) 間的と手段 ・) ・者 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	円 11 消耗品費 円 12 役務費 円 13 委託料 円 14 使用料及	び手数料	8,708 円 15 工事請 16,000 円 18 備品購 円 19 負担金	i負費 i入費 補助及び交付金 計	円 円 29,708 円	
決算額1(1)1(1)6(1)5(1)6(1)6(1)7(1)6(1)7(1)8(1)9(1)9(1)10(1)11(1)12(1)13(1)14(1)15(1)16(1)17(1)18(1)19(1)10(1 報酬 7 賃金 8 報償費 9 旅費 事務事業の 「誰を、何を	5,000 は状把握(Do) 間的と手段 ・) ・者 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	円 11 消耗品費 円 12 役務費 円 13 委託料 円 14 使用料及	び手数料 <mark>活動指標名・</mark> 指標 名称 ¹	8,708 円 15 工事舗 16,000 円 18 備品購 円 19 負担金 円 合	i負費 i入費 補助及び交付金 計	円 円 29,708 円	
決算額1(1)(対	1 報酬 7 報酬金 8 報賃費 9 旅費 事務事業の時 (誰以上 第新一名 (世上 1 本 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も	5,000 は状把握(Do) 間的と手段 い さ がな内容、手順等) 呼びかけての募集及び全を経て、参加者を募る。 齢者向けの「交通安全教	円 11 消耗品費 円 12 役務費 円 13 委託料 円 14 使用料及	び手数料 活動指標名・ 指標 名称 に (1) 式 目	8,708 円 15 工事請 16,000 円 18 備品購 円 19 負担金 円 合 式(アウトプット) 講話及び実技の講座(i負費 i入費 補助及び交付金 計	円 円 29,708 円	
決算額	1 報酬 7 報酬金 8 報賃費 9 旅事業の厚 1 務事業 の 1 報 9 旅事業の 1 報 第 報費 1 報 1 報 1 報 1 報 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	5,000 は状把握(Do) 間的と手段 ・) ・者 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	円 11 消耗品費 円 12 役務費 円 13 委託料 円 14 使用料及	び手数料 活動指標名・ 指標 名称 指標 名称 指標 名称	8,708 円 15 工事請 16,000 円 18 備品購 円 19 負担金 円 合 式(アウトプット) 講話及び実技の講座(i負費 i入費 補助及び交付金 計	円 円 29,708 円	
決算額1 (対 6 手 シ 工と対 6 段 5 日本野各に学芸な1 (対 6 目 2 日本)アン・エと	1 報酬 7 報酬 8 報費 9 旅費 9 旅事業の厚 1 翻 1 報酬 1 報酬 1 報酬 1 報 1 報 1 報 1 報 1 報 1 報 1 報 1 報	5,000 は状把握(Do) 間的と手段 い さ がな内容、手順等) 呼びかけての募集及び全を経て、参加者を募る。 齢者向けの「交通安全教	円 11 消耗品費 円 12 役務費 円 13 委託料 円 14 使用料及 シ戸配布チラ 対室」や和紙	び手数料 活動指標名・ 指標 名称 (1) 式 目 指標 名称 (2) 式	8,708 円 15 工事請 16,000 円 18 備品購 円 19 負担金 円 合 式(アウトプット) 講話及び実技の講座(i負費 i入費 補助及び交付金 計 活動の大き の回数	円 円 29,708円 さを表す指標	

事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか 高齢者の学習意欲が高まり、社会参加を促すことにより生涯学習活動の充実が図られ、豊かな心と創造性あふれる人材育 成のまちづくりに貢献している。

指標

(2)

式 人

名称

式

(2)指標・総事業費の推移

		H JW	心于未更少压少							
			区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
		活	動指標(1)	回				10	10	
指		活	動指標(2)							
標			果指標(1)	人				206	200	
		成果指標(2)								
		財	国・県支出金	千円						
	事	源	地方債	千円						
投	業	内	その他	千円						
	費	訳	一般財源	千円				30	66	
入			事業費計(A)	千円				30	66	
	人		職員数	人				0.1	0.1	
量	件	人	件費平均額(年)	千円				8,373	8,373	
	費		人件費計 (B)	千円	0	0	0	837	837	
		総	事業費 (A+B)	千円		0	0	867	903	

(3)事務事業の環境変化・市民の意見等

事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢) はどう変わりましたか?

各地区新生会から推薦されて受講する高齢者の数が減ってきた。

この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?

受講した参加者からは、大変役に立ったと概ね好評であったが、租税教室や後期高齢者医療制度といった一方的に聞く講義 ばかりでなく、討議形式があるといいとの感想が寄せられた。

本宮市行政評価システム **2.事務事業の評価 (Check)**

	·	[目的妥当性評価]					
	施策体系との整合性	市が行なう必要性	対象・意図の妥当性				
	☑有 【理由 】	☑有 【理由 】	✓有 【理由 】				
	□無 【理由 、 改革改善案へ】	無【理由、改革改善案へ】					
		□ 無 【					
	れている。	ができる。	いるため妥当。				
		「左孙州初傳」					
4.77	成果の向上余地	「有効性評価] 事業の中止・廃止による影響	短川東光 トの佐藤介の可能性				
評			類似事業との統廃合の可能性				
/H	□ □ 「理由 , 改革改善案へ】	▽有 【理由 】	□ □ 有 【理由 , 改革改善案へ】				
価	□無 【理由 】	□無 【理由 , 改革改善案へ】	☑無 【理由 】				
結							
河口	受講生の参加による企画検討会議を開	かよくださいしてしょう	白沢公民館各分館では同様の事業を開				
果		新生会が衰退してしまう。	催していないため。				
	る 。						
	[効率性		[公平性評価]				
		人件費の削減余地	受益者負担の適正化余地				
	□ 有 【理由 , 改革改善案へ】	☑ 有 【理由 , 改革改善案へ】	☑ 有 【理由 , 改革改善案へ】				
	☑無 【理由 】	□無 【理由 】	□無 【理由 】				
	ロ粉を置きませたで、砂体性がわくわし	運営委員会等を組織し、独自の運営に	受講料を幾分でも負担してもらう。				
		切り替えていければ、毎回担当者がつ					
		いていなくとも可能。	担)				
3 . 1	評価結果の総括と今後の方向性		L				
	1次評価者としての評価結果	(2)全体総括(振	り返り、反省点)				
(')			マ語生土体に9 ることかでされば、				
			担当者の負担も減ると予想され				
		≦し余地がある 四/// でしまり、 る。					
		[□ () () () () () () () () () (を防ぐためにも継続することが大切				
		10余地がある である					
(3)	今後の事業の方向性		(5)改革・改善による期待成果				
	□ 廃止 □ 休止 □	事業の統廃合 目的再設定	廃止・休止の場合は記入不要				
	✓ 事業のやり方改善(有効性改善)]事業のやり方改善(効率性改善)	コスト				
	☑ 事業のやり方改善(公平性改善)]現状維持(従来の通りで特に改革改善しな	:(ハ) 削減 維持 増加				
(4)i	改革改善案の概要		_ 向上				
, , , ,			以 維持				
講	座の受講生による運営委員会を設置し	ノ、役割分担をすると共に、次年度(の事 果 低下				
業	計画や毎回の講座の運営に参画しても	5らうようにする。	II.W I				
/e):	改革改善を実現する上での解決すべき課	頭と銀油等					
(0)	以子以音で天吹する上しの肝仄すべき味が	区に肝仄果					
運	営委員会を設置することに対する受講生	の理解が必要。					
<u> </u>	事務事業 の2次評価結果 □ 🤈 ⅓	⟨評価対象 ✓ 2次評価対象外					
_	2次評価者としての評価結果 □ 2 次	(2) 評価結果の根	脚と理由				
(1)		```	にに生田				
		直し余地がある					
		直し余地がある					
		直し余地がある					
		直し余地がある					
(3)	今後の事業の方向性(改革改善案)		(4)改革・改善による期待成果				
□廃止 □休止 □目的再設定 □事業の統廃合 廃止・休止の場合は記入不要							
	□事業のやり方改善(有効性改善) 事業のやり方改善(効率性改善) コスト						
	□ 事業のやり方改善(公平性改善) □ 現状維持(従来の通りで特に改革改善しない) 削減 維持 増加						
			』向上				
			DX 4 4++				
			低下				
	The state of the s						
(5) -	(5)その他、2次評価会議で指摘された事項						
1							